

令和6年度第2回大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者計画策定・推進部会

議事要旨

日時：令和7年3月13日（木）午前10時から12時

場所：大阪市役所 7階 市会第5委員会室

【参加委員】

・会場参加

相田委員、芦田委員、井上委員、大野委員、酒井（京子）委員、三田（さんだ）委員、大東委員、西委員、布村委員、長谷川委員、三田（みた）委員、山梨委員、和多田委員

【議題1：令和7年度大阪市障がい者等基礎調査について】

- ・調査の目的として、福祉サービスの質の問題も含めた進捗状況の確認や次の計画への反映を重視する必要がある。
- ・ワーキンググループで調査項目の見直しやまとめ方を工夫していく必要がある。

【議題2：入所施設からの地域移行について】

<主なご意見>

- ・強度行動障がい者の受け皿となるグループホームの質向上が重要であり、人材確保の対策が求められる。
- ・親亡き後の支援を強化するために、市の実情に合った施策を計画に組み込むことが必要。

【議題3：精神科病院からの地域移行について】

<主なご意見>

- ・地域移行の実績が低い。地域移行の取組を進めるには、具体的な住まいや就労など、退院後の生活の保証が必要。
- ・保護課との連携強化も求められる。
- ・精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築には医療と福祉の連携強化が必要である。
- ・出かけるチームがもっと気軽に利用できれば、何でもかんでも強制入院みたいな形が避けられるのではないか。

**【議題4：就労支援の充実について】**

＜主なご意見＞

- 就労系事業所の質向上と人材育成が必要。特にB型事業所の総量規制を検討すべき。
- 就労選択支援事業では、事業所において、地域と繋がっていることや、アセスメントする適切な環境とスキルが必要。
- 指定を受けた後、どのような支援をしなくてはならないかということを確認に示すことで、市としてどういった支援を求めるかを示すことはできるのではないか。